平成29年度
官民連携事業の推進のための地域ブロックプラットフォーム①

茨木市のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

平成29年9月29日（金）

茨木市長　福 岡　洋 一

次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

平成30年は市制施行70周年

茨木市の特徴

① 京阪神に近く、交通環境が充実

鉄道（JR、阪急）、大阪モノレール（伊丹空港へも直結）、
名神高速道路IC、新名神高速道路IC（H30予定）
関西国際空港への高速バス

② 継続的に人口増加

平成17年国勢調査：267,961人
平成22年国勢調査：274,822人（＋6,861人）
平成27年国勢調査：280,033人（＋5,211人）

③ 一人も見捨てへん教育

一人ひとりの子どもに応じたきめ細かな支援
平成26年度から３年間で90を超える市町村から視察受け入れ
6大学11高校が集まる文教都市

④ 「川端康成」ゆかりのまち

日本で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成氏
（本市名誉市民）が幼少期に暮らしたまち。

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

茨木市のまちづくりにおける課題①

ハード面

- **社会資本の老朽化対策**

公共施設等マネジメント　JR茨木・阪急茨木市駅前再整備　など

- **将来に向けたプロジェクトの推進**

安威川ダム周辺整備　新駅（JR総持寺駅）周辺整備　など

ソフト面

人々が**「幸せ」**や**「豊かな生活」**を感じる対象

モノ **から** **コト** **へ**

茨木市のまちづくりにおける課題②

これまでの行政が得意としてきたこと

マイナスをゼロにする取組

「次なる茨木」へ向けて

これからの行政に求められること

ゼロをプラスに変えていく積極的な取組

例えば・・・①	例えば・・・②
居心地の良い **「第３の居場所（サードプレイス）」** が広がるまちづくり	**活動人口を増やし** 魅力と活力に満ちたまちづくり
市民会館跡地エリア活用	「リノベのいばらき」プロジェクト

元市民会館の概要

開館時期	昭和44年６月15日		
経過年数	48年（平成29年9月現在）		
敷地面積	1,896㎡	延床面積	6,280㎡
階　数	地下１階、地上６階建て		
構造種別	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造		
主要諸室	大ホール　1,003席 ドリームホール　200人収容 楽屋　３室、会議室　４室 和室　２室　レストラン　事務室　ほか		

施設外観

経年劣化による維持管理費の増加、バリアフリー・耐震性の課題から、
平成27年12月に閉館

市民会館跡地を、茨木市民の
「新たな心の中心地」としてふさわしい場所へ

市民会館100人会議①

【概要】

市民会館跡地活用についての意見や想い、ニーズについて、市長と様々な年代や団体に所属する市民との対話の場

【開催期間】

平成28年10月～平成29年２月、全10回

【出席者数】

計99人

開催報告や参加者コメント動画（YOUTUBE）を公開中！

茨木市　100人会議　**検 索**

市民会館100人会議②

100人会議における市民会館に対する想い　キーワード（要素）の分類

ホール　憩い　交流　にぎわい

100人会議　最終報告会

（平成29年３月26日開催）

憩い　交流　にぎわい

のキーワードから、市民会館跡地活用のキャッチフレーズを作成

ワークショップから導かれた２つの視点

◎ 「ハレの特別な日」を担う機能
◎ 「日常の場」としての機能

社会情勢・政策課題

第５次茨木市総合計画、都市計画マスタープラン

中心市街地においては、**「医療・福祉」「子育て」「文化」**などの機能を組み込み、「人」「モノ」「カネ」に加えて「感性」が循環し交流する、生活に彩りを持たせることのできる地域をめざすとしている。

- **福祉（母子保健）、子育て…**妊娠期からの切れ目ない支援（ネウボラ）、ワンストップの拠点が求められている。
- **文化…**発表の場や新たな文化芸術にふれる場づくりも求められている。

中心市街地という立地性

ＪＲ、阪急の両駅の中間であり本市の中心市街地に位置するという立地性から、**にぎわいづくり**や**活性化**などの面から検討が必要。

公共施設マネジメント

周辺の老朽施設との**複合化**、**全体最適化**の視点から検討が必要。
トータルコストの縮減や**官民連携（ＰＰＰ）手法の導入検討**が必要。

コンセプトの設定と今後の予定

■コンセプトの設定

【４つの要素】

ホール / 憩える場 / 交流する場 / にぎわいの場

×

【２つの視点】

ハレの特別な日 / 日常のいごこちのよい場

×

【政策】

子育て支援 / 中心市街地活性化

【基本性能】

災害時対応、環境配慮、バリアフリー　など

Key Concept

育てる広場

■今後の予定

- **2023年４月のオープンをめざし**、今年度は「基本構想」、来年度に「基本計画」を策定予定
- 「茨木市PPP手法導入指針（平成29年3月策定）」に基づき、**官民連携手法（PPP/PFI）の導入**を検討

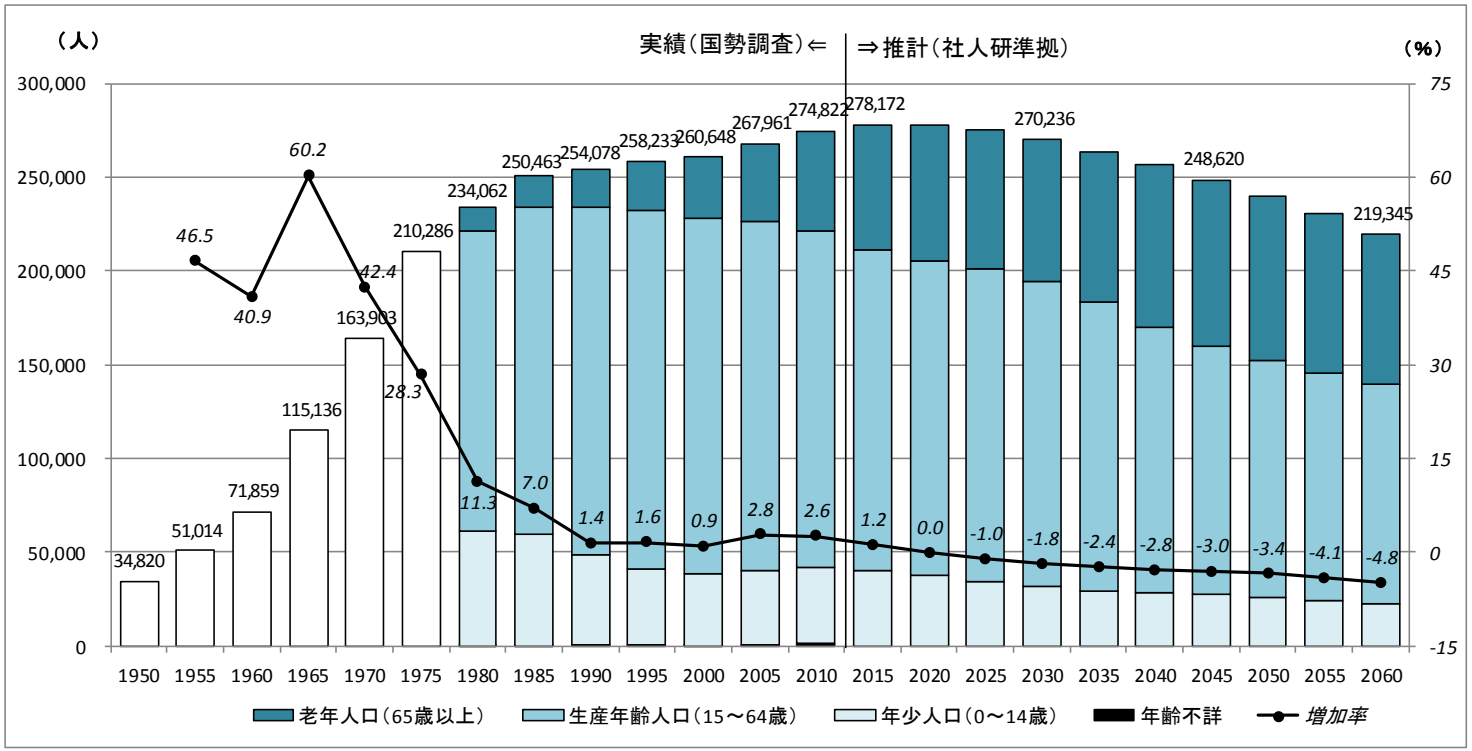
次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

「リノベのいばらき」の目的

本市においても、**近い将来の人口減少**、**少子高齢化の一層の進行**を予測

確かな未来に向けて

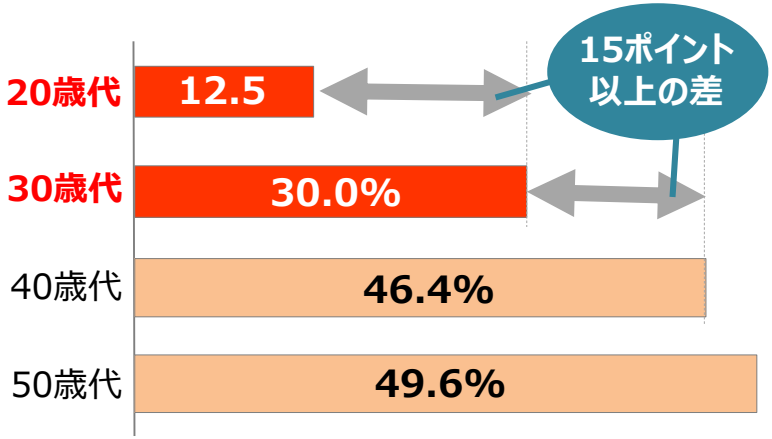
定住人口、交流人口の増加を図るだけでなく、
「活動人口」を増加させることが重要



茨木市の将来人口推計（茨木市人口ビジョン）

なぜ「DIY」？

地域活動、社会活動への参加割合



茨木市定住と交流に関する市民意向調査
（平成27年度、茨木市）

20歳代が抱く「DIY」のイメージ

リノベーション・DIYに関する意識調査
（平成26年、リクルート住まいカンパニー）

活動人口の割合の低い若い世代に × 「リノベーション」「DIY」を切り口に施策展開

これまでまちづくりに関心のなかった人々が
「楽しく」まちづくりをはじめるきっかけを創り出す

事業の概要

平成28年度（平成29年１月～３月）　市場ニーズ調査

20代女性
40～60代男性

「DIYを楽しくチャレンジしたい」というニーズ

平成29年度　拠点整備・運営開始

- 拠点となるDIY工房を整備し、**活動の場を提供**。
  （平成29年8月以降、順次、解体ワークショップなどを実施。平成29年12月運営開始予定）
- DIY工房を整備するワークショップ、DIY体験講座等を実施予定。

DIY工房として整備予定の拠点
（阪急本通り商店街）

リノベーション

DIY工房のイメージ
（DIY-COBO（UR都市機構、箕面粟生団地））

今後の展開イメージ

DIY工房を活用して

- リノベーションを実践する**場を提供**
- リノベーションを切り口とした**まちづくりの人材育成**

事業展開イメージ	① 参加型の空き家改修体験 ② DIYカフェの創業　など

活動人口の増加 × 茨木市のイメージ **「リノベーションするまち」**

次なる茨木へ。

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

ご清聴ありがとうございました

写真は市民の皆さんに聞いた「茨木市の好きなところ」「茨木での思い出」（茨木市HP「茨木三昧_市制70周年までのカウントダウン」より）

平成29年度
官民連携事業の推進のための地域ブロックプラットフォーム②

官民連携を進めるにあたっての課題

平成29年9月29日（金）

茨木市長　福 岡　洋 一

次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

官民連携を進めるにあたっての課題①

- 実績に乏しく、**職員のノウハウが不足**している。
- 民間の参入意欲を高められる、**事業内容の設定**。
- 手続きが煩雑であり、**手間と時間がかかる**。
- サウンディング等における、**適切な対話対象の設定**。
- 事業期間中の破綻リスク等、**官民の適切なリスク分担**。
- 事業パートナー選定における、**公平性・公正性の確保**。
- サービスの質の確保に向けた、設計、施工、運営の各段階における**適切なモニタリングの実施**。　など

しかし

厳しい財政状況の中**「まちの持続的発展」**を実現するため

官民連携は一層重要に

官民連携を進めるにあたっての課題②

今の行政に不足しているもの

- 市民の想い等、様々な要素を事業につなげる**コーディネート力**
- 従来の発想の転換 **（クリエイティビティ・センス）**

民間の「デザイン力」を活用

「次なる茨木」に向けた様々な事業

「点」ではなく**「面」**で捉え

エリア全体をデザイン

中心市街地	立地適正化	北部地域

茨木市の中心市街地の特徴

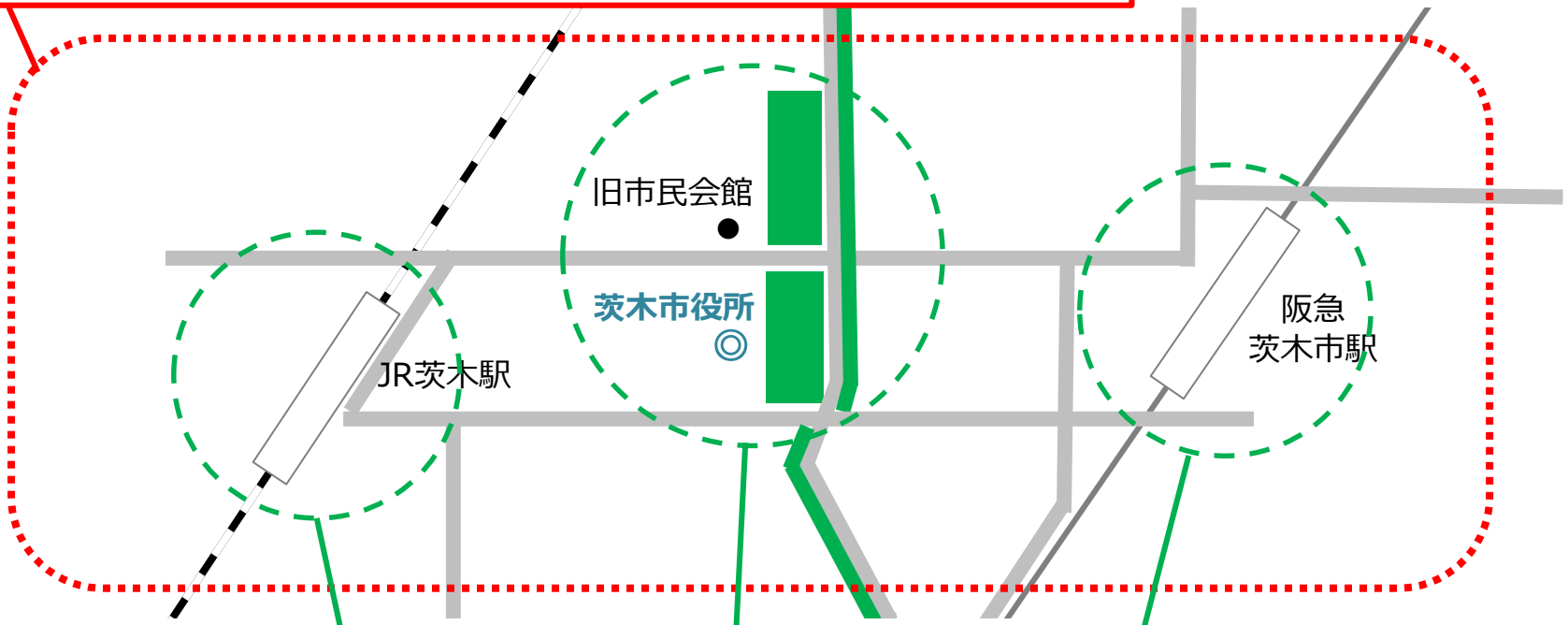
- 「元茨木川緑地」「中央公園」など、**緑豊かな中心市街地**
- 税務署やハローワークなど、**国の出先機関も多く立地**
- 平成27年４月に**立命館大学**新キャンパス開設。

中心市街地活性化基本計画（策定中）

- JR茨木・阪急茨木市駅の**両駅前整備**の検討が進行中
- 市民会館跡地エリアを含めて、総合的一体的に推進するため、**グランドデザイン**、**エリアデザイン**等を検討中

H30年度中の認定をめざす

中心市街地全体の将来イメージ（グランドデザイン）



エリアごとの将来イメージ（エリアデザイン）

立地適正化計画（策定中）

これまでも

コンパクトな市街地を形成（市全域のうち市街化区域は約43%）

長期的な視点でみると

人口減少、人口構造の変化

➡ **都市機能施設の誘導、維持・増進を図る必要**

都市機能誘導区域　**都市機能維持・増進区域**　**居住誘導区域**

立地適正化計画で３つの区域を設定し、都市機能配置の適正化を図ることで、**持続可能なまちをめざす**。（H30年度策定予定）

北部地域「いばきた」

いばきたの地域魅力資源

- 美しい棚田の風景
- 隠れキリシタンの里
- 古民家を利用した飲食店
- 野菜直売所

etc…

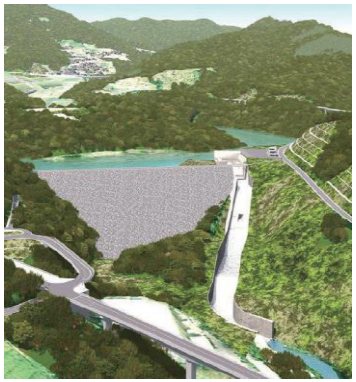
- **隠れキリシタンとしての信仰**があった歴史的にも貴重な地域。
- **サイクリング**を活用した魅力発信イベントも実施
- 北部地域の魅力に触れてもらうため、ガイドブックやPR動画を作成し、**地域や民間企業、大学等と連携した魅力発信**に取り組んでいる。

ガイドブック「いばらきの山とまちをつなぐ」（左）、「いばきた」（右）

いばきたのプロジェクト

安威川ダム（平成35年供用開始（予定））

- **民間活力を活かしたダム周辺整備を検討中（アウトドア、スポーツ、宿泊施設など）**
- 府と連携し、ダム周辺の活用と保全に取り組む「安威川ダムファンづくり会」の活動を支援。
- 市内複数の飲食店で**「安威川ダムカレー」**を提供中（ダムカレーカード付き）



【写真】左：安威川ダム完成予想図、右上：安威川ダムカレー、右下：安威川フェス2015

新名神高速道路

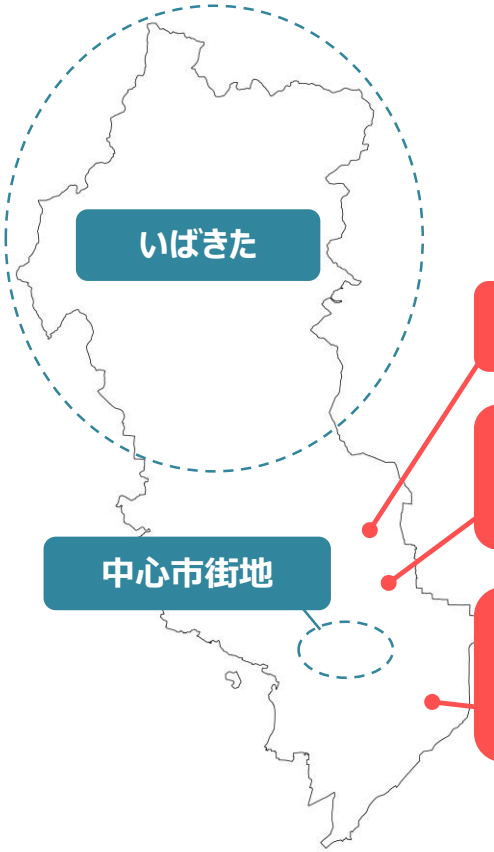
- 高槻～神戸間（延長40.5km）は、平成29年度末に全線開通を目標。
- 千提寺地区にICとPAが整備される。
- IC・PA付近の周辺整備として、**回遊路や展望台、ビオトープなどを、地域と連携して整備中**。

彩都（国際文化公園都市）

- 西部、中部に引き続き、**東部地区**の開発が進行中
- 企業ニーズに応じた新たな産業用地を創出し、**民間主導のまちづくりを支援**。

彩都西部地域のまちなみ

まとめ ～官民連携と対話によるエリアデザイン～



現在進行中のプロジェクト

- 東芝スマートコミュニティ
- 新駅（JR総持寺駅）【平成30年春開業】
- 南部地域における広域幹線道路沿道の企業立地誘導等

×

官民連携

市民との対話

「次なる茨木」をデザイン

山間部の星空

竜王山からの風景

ご清聴ありがとうございました

いばきた　検索

見山のあじさい

下音羽川

長谷の田んぼ